事務事業評価シート

評価年度	令和元年度	対象事業年度	平成30年度

所属・担当者氏名	環境建設部　土木管理課　土木管理係　米田　真幸	評価責任者（担当課長）	土木管理課長　竹村　育志

1．事務事業の種類

① 事務事業の名称		道路新設改良事業	② 整理番号	03020203-001
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	元気とにぎわいのまちづくり		
	節	都市基盤の整備		
	項	道路交通体系の確立		
	号	生活道路の整備		
④ 関連する個別計画		なし	⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等		道路法		

2．事務事業の概要

① 目的（何のために）	市民生活の利便性の向上
② 対象（誰・何を対象として）	市民を含む道路利用者
③ 手段（どのようなやり方で）	道路新設、舗装新設、道肩改良工事に取り組む。
④ 成果（どのような効果を得ようとしているのか）	安全かつ円滑な通行の確保

3．投入された年間総事業費及び人件費の推移

※概算人件費は「人件費計算シート」による　（単位：千円，人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
① 直接事業費	27,491	29,876	21,491	4,838	(予算) 22,232
② 概算人件費	(0.79) 5,804	(1.00) 7,116	(0.88) 6,171	(0.71) 5,007	
(関与比率) 一般職員	(0.79) 5,804	(1.00) 7,116	(0.88) 6,171	(0.71) 5,007	
(関与比率) 嘱託職員					
(関与比率) 臨時職員					
③ 合　計 (①＋②)	33,295	36,992	27,662	9,845	
④ 特定財源（国・県支出金、市債など）					(当初予算)
⑤ 一般財源 (③－④)	33,295	36,992	27,662	9,845	

４．評価指標

種類	指　標　名	指標の算出方法等	実　績　値			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① 整備箇所数	整備箇所数(道肩改良)	3箇所	6箇所	2箇所	
	② 整備箇所数	整備箇所数(舗装新設)	1箇所	3箇所	4箇所	1箇所
成果指標	① 整備延長	整備延長(道肩改良)	259 m	412 m	114 m	
	② 整備面積	整備面積(舗装新設)	491 ㎡	1,104 ㎡	1,074 ㎡	494 ㎡
効率指標	① 整備1m当りのコスト	事業費/整備延長(道肩改良)	46,164 円	44,670 円	115,200 円	
	② 整備1㎡当りのコスト	事業費/整備面積(舗装新設)	4,685 円	10,391 円	6,604 円	9,794 円

５．項目別評価

評 価 の 視 点	3段階評 価	評 価 の 根 拠
①妥当性 （目的及び市の関与は妥当ですか）	A	関係法令等で定められた事業であり、管理者である市が行うべき事業である。
②有効性 （成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか）	A	安全かつ円滑な通行を確保することにより、道路利用者の利便性が向上している。
③効率性 （コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか）	A	単位当たりのコストは、年度により事業内容が異なるため増減はあるが、事業コストの削減に努めており、適正である。

６．今後の方向性　　Ａ 現状のまま継続、Ｂ 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、Ｃ 休止、Ｄ 完了・廃止

判　定	具体的な改善・見直しの内容（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）
A	□ 人件費の重点化 □ 予算の重点化 □ 事業の縮小 □事業の統合 □実施内容の変更 □ その他

７．２次評価　　Ａ 現状のまま継続、Ｂ 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、Ｃ 休止、Ｄ 完了・廃止

判　定	具体的な改善内容・改善計画（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）